

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MTT033-P09

会場:コンベンションホール

時間:5月25日 16:15-18:45

拡張現実を用いた地球惑星科学情報の表現 Visualization of geoscience information by using Augmented Reality

阿部 修司^{1*}, 吉田 大紀², 小山 幸伸², 金田 直樹³
Shuji Abe^{1*}, Daiki Yoshida², Yukinobu Koyama², Naoki Kaneda³

¹九州大学宙空環境研究センター, ²京大院・附属地磁気世界資料解析センター, ³京大院・附属天文台
¹SERC, Kyushu Univ., ²DACGSM, Kyoto Univ., ³Kwasan & Hida Observatories, Kyoto Univ.

拡張現実 (Augmented Reality : AR) とは、現実の環境にコンピュータを用いた情報を付加する技術及びその環境を指す言葉である。地球惑星科学で取り扱う事象には電場や磁場など不可視のものが多く存在し、それらの空間分布・構造を理解することが我々の重要な研究のひとつである。拡張現実を用いて不可視の概念を可視化し現実空間と重ね合わせることで、地球惑星科学情報の直感的な理解と研究の促進が期待できる。また、全地球測位システム (GPS) 情報を用いた眼前の風景に関連する付加情報の表示 (セカイカメラ) は、地球惑星情報を利用した拡張現実の例と可能性を示唆している。本発表では、拡張現実を用いた地球惑星科学情報の可視化について、その事例を紹介する。